

祝 春の叙勲受章



旭日小綬章
【地方自治】
高瀬 和夫さん
(木幡)

1987年から7期連続で矢板市議会議員を務め、副議長や議長などを歴任されました。2004年には藍綬褒章を受章されました。



瑞宝双光章
【地方自治】
鈴木 操さん
(上町)

1962年に矢板市職員となり総務部長などを歴任。1996年から2004年まで助役を務められ、市政発展に貢献されました。



瑞宝双光章
【看護業務】
細川 成子さん
(東町)

1979年に看護師となり、1988年から特別養護老人ホーム八汐苑勤務。現在も、八汐苑の看護系主任として勤められています。

5/18 (土) いっぱいの花でお出迎え

長峰公園において、矢板花の会の皆さんが、矢板高校生が育てたサルビアやマリーゴールドなどの花を公園入口や園内通路脇の花壇に植える奉仕活動を行いました。花の会は、長峰公園のほか、駅前にプランターを設置する活動も行っており、会の活動は21年目を迎えます。

会長の櫻井さんは「長峰公園の入口や駅前は、いわば矢板市の顔。公園や駅を利用する方のほかにも多くの方が道路を通るので、みんなが気持ち良いと思える環境づくりに微力ながら貢献できたらうれしい」と話してくれました。



5/19 (日) たかはらを駆け抜ける

県民の森にある全国育樹祭会場記念緑地をメイン会場に「Takahara Adventures Festival (TAF)」が初開催されました。この大会は、遊歩道や登山道などを走りタイムを競うマウンテンランニング大会で、メイン会場をスタート・ゴールに新緑の高原山の山麓に設定された約30km・高低差約1,000mのコースを約300人の参加者が駆け抜けました。

参加した方からは「高原山一帯、景色も変化に富んでいて、すてきなところだった。コースの至る所でツツジなどの花が出迎えてくれた」などの感想が聞かれました。



5/25 (土) 心もお腹もまんぷく

5月25日(土)・6月22日(土)の2日間、栃木県内のご当地グルメを楽しむJR東日本のイベント列車「とちぎまんぷく列車」が運行されました。これは、アフターDCの1つとして行われたもので、県内8駅に停車し、乗客は各地の名産品などを楽しみました。矢板駅では、やいたブランド認証品のアップルクーヘンが振る舞われました。

友人同士で参加した方は「停車駅ごとに心温かいおもてなしを受けた。各地の名産を堪能することができて、心もお腹もいっぱい」と感想を話してくれました。



6/1 (土) 城跡を守り続ける

川崎城跡公園で、川崎城跡公園再生市民会議の皆さんを中心に約30人の方が参加し、草刈りなどの公園整備が行われました。この会は、史跡を子孫に受け継ぐための保全活動を10年以上にわたり続けているほか、史跡を身近に感じてもらおうと夏には「光と音のあんどんまつり」を開催しています。

会長の石下さんは「地元の方や賛同して下さる方たちに支えられて活動を続けている。ここが市民にとって憩いと誇りを感じられる場所であってほしい」と話してくれました。



6/6 (木) ツツジ満開

八方ヶ原でツツジが見ごろを迎え、県内外から多くの方が訪れ、にぎわいをみせました。天気にも恵まれた梅雨入り前のこの日、約20万株のレンゲツツジが群生している大間々には、家族や友人たちと散策や写真撮影を楽しむ姿が多く見られました。

県外から訪れた方は「1番きれいな見ることができる時期に来ることができてよかった。きれいな花を見られて優しい気持ちになれた。来年は友人を誘って訪れたい」と感想を話してくれました。



6/9 (日) 雨の中の激戦

JR片岡駅周辺で「第3回JBCF やいた片岡ロードレース」が開催されました。このレースは、片岡駅西口からコロナ矢板周辺の1周10.7kmのコースを国内トップクラスの選手が駆け抜ける自転車レースで、今年で3回目を迎えました。当日はあいにくの雨模様となりましたが、沿道には多くの観客が訪れ選手に声援を送りました。

メイン会場のMCを務めた高坂美歩さんは「駅のロータリーを選手が駆け抜けていく姿はまさに圧巻。雨で気温は低くても、会場は熱気で熱かった」と話してくれました。



6/9 (日) 感謝の気持ちを手料理で

健康増進課と矢板公民館の共催で「父の日料理教室」が行われました。親子で触れ合いながら料理をし、絆を深めることを目的として、子どもも大人も好きな餃子作りに取り組みました。料理をする子どもたちの真剣な表情は、子どもの成長を感じられる父の日のプレゼントにもなりました。

参加した保護者からは「仕事で日ごろは忙しく、子どもと一緒に料理をする機会がないので、とても楽しい時間でした。思い出と家族のオリジナルレシピがひとつ増えました」との感想がありました。

